

【婦人保護施設版】 秋田県福祉サービス第三者評価 評価結果表

評価実施基準日	平成 27 年 11 月 5 日
評価確定公表日	平成 28 年 2 月 4 日
評価情報更新日	平成 年 月 日

◆ 評価を実施した機関

名称	(NPO 法人) 秋田県福祉施設士会
所在地	(〒 018 - 3454) 北秋田市脇神字高村岱281-4
TEL	(0186) 60 - 1071
FAX	(0186) 60 - 1071
E-mail	murakou-0101@w4.dion.ne.jp
ホームページURL	http://www.ab.auone-net.jp/~aki-dswi/index.html

◆ 評価を受審した事業者

フリガナ 法人名称	(社会福祉法人) アキタケン ボシ カフ フクシ レンゴウカイ 秋田県母子寡婦福祉連合会
法人 所在地	(〒 010 - 0864) 秋田市手形住吉町4番26号
TEL	(018) 833 - 4249
FAX	(018) 833 - 4246
法人代表者	中川 聖子
フリガナ 事業所名	アキタケン ヨウコウエン 秋田県陽光園
サービス種別	婦人保護施設
管理者名	大野佑司
開設年月日	昭和 33 年 6 月 1 日 定員数 16 世帯
TEL	(018) 834 - 0906
FAX	(018) 833 - 4246
E-mail	akiboren@dolphin.ocn.ne.jp
ホームページURL	http://akiboren.jp

◆ 評価の総評（優れている点、改善を求められる点）

Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

「理念・基本方針」はしっかり明文化されており、事務所・廊下の掲示板に張られ周知されています。「事業計画の策定」に関して、中・長期計画の策定では、法人本部の策定はなされていますが、施設ではその際の現状の見直しに終わっています。施設における中長期計画を策定し職員と共に課題を共有しながら見直しを中心に解決に向けた取り組みを望みます。「管理者の責任とリーダーシップ」に関して、施設長が法人本部と施設の役割を兼任されていますが、特に施設長会議や職員会議を通じて経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに努めています。今後も法人本部と施設の経営や効率化の課題など改善に向けた更なる取り組みを期待します。

Ⅱ 組織の運営管理

「経営状況の把握」について、女性相談所（1階）の一時保護所（2階）と当保護施設（3階、指定管理委託施設）が同一建物内に収まっているために、入所利用者の動向把握がしやすくなっていますが、現在1名の入所者及び過去の入所者0名（2年間）が気になります。「職員就業状況」では、人事課は実施されていますが、福利厚生面に力向け、職員の意欲・質向上に重点がシフトされるよう望みます。「安全管理面」では、緊急時、災害時などの安全確保の整備がなされ取り組みが万全になっています。「地域との交流」では、関係機関との連携が確保され適切に行われていますが、いわゆる地域交流などの取組みはなく、実習生・ボランティア受け入れにも取り組んでいません。今後の婦人保護事業の発展を祈ります。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

「理念・基本方針」のもと、社会において様々な苦難な生活体験を強いられてきた女性を保護し、再出発を目指す、利用者一人ひとりの意志尊重、安心・安全確保とプライバシーの保護に向けて、適切な福祉サービスと質の向上に努め、利用者に寄り添い丁寧な対応の取り組みもなされています。また、よりよい質のサービスの提供についての実施方法や記録では、責任者を選任し、責任者と同一の生活支援や就労支援、自立支援に向けての取り組みが望まれますし、職員間で情報共有した、よりきめ細かいサービス提供を目指しながらの日々の生活の中で「孤独にさせない利用者満足の取り組み」を図ることを期待します。

A 利用者の尊重、日常生活支援サービス

サービス実施マニュアルが作成され、「サービスの実施」においては、項目別に必要な日常生活支援サービスの区分が記載されています。今後は、日常生活を送る上で「きまり・手順書」等サービス提供区分を具体的に示されている文章の作成を望みます。定例会、個別面談、連絡ノート、日常生活場面などで、利用者の意見・要望等が取り入れられ雰囲気や環境作りに配慮がなされています。職員の役割り連携による支援になっていますが、日中や夜間に対する全職員共通の一致した利用者本位の支援でありますようお願いしています。

※ 受審した施設からのコメント

当法人が行っている指定管理者としてのサービス内容について、専門的な立場からの第三者評価を初めて受審しましたが、評価結果については、当法人が平成22年度から毎年実施している自己点検評価結果と概ね一致していることから、課題がさらに明確になり、より具体的な目標が定まったと認識しております。今後、改善を求められたものについては、組織として十分検討を行い、次期中期計画に反映させるとともに、スピード感を持ってサービスの向上に結び付け、利用者にとってより良い施設であり続けるよう努力してまいります。

◆ 細目の評価結果（基本評価53項目）

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
I 福祉サービスの基本方針と組織			
1 理念・基本方針			
(1) 理念、基本方針が確立されている。			
① 法人や施設の理念が明文化されている。	a	「要保護女性の自立支援」の設置理念が明文化され掲示されています。	
② 法人や施設の運営理念に基づく基本方針が明文化されている。	a	利用者の意志尊重、安全確保とプライバシーの保護、就労支援等が明示されており、利用者により添い、丁寧な対応、前向きな力を信頼し、地域の中で自信を持って踏み出せるよう読み取ることができます。	
(2) 理念や基本方針が周知されている。			
① 理念や基本方針が職員に周知されている。	b	理念や基本方針を目につきやすい場所に張っていたり、リーフレットにも明示していますが、職員共有になるよう更なる気づきを求めます。	常に原点に立ち還るよう職員会議等の機会をとらえ、職員の意識改革に努めます。
② 理念や基本方針が利用者等に周知されている。	b	理念や方針を利用者が目にしていますが、利用者に対して更に説明と理解を深めてもらうよう取り組む必要があります。	定例会等の機会をとらえ、理解を深めるよう努力します。
2 事業計画の策定			
(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。			
① 中・長期計画が策定されている。	b	法人の中・長期計画は策定されているものの、施設独自の中長期計画までは至っていません。施設独自の課題達成等を望みます。	法人の中期振興計画に基づき、平成28年度から平成32年度までの5カ年間の計画を「秋田県陽光園の管理に係る事業計画書」として策定しております。
② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	b	各年度の事業計画は法人の中長期計画策定時に策定され、中間に見直されていますが、内容面で反映するよう望みます。	今後は各年度の事業計画に具体的に反映させるよう努めます。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
(2) 事業計画が適切に策定されている。			
① 事業計画の策定が組織的に行われている。	a	各計画の策定・見直しは、職員参画で策定され実施時養協に関しても組織的に行われています。	
② 事業計画が職員に周知されている。	b	各計画は毎年度予算書と共に作成されていますが、会議等の中での理解を深めるための取り組みが求められます。	職員会議等を通じ、目的達成に向けての意欲を喚起します。
③ 事業計画が利用者等に周知されている。	b	利用者等に示していますが、定例会等を通じて理解を深めるための取り組みを望みます。	理解を深めるため、定例会等における取り組み内容を検討します。
3 管理者の責任とリーダーシップ			
(1) 管理者の責任が明確にされている。			
① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	b	事務分掌で管理者の役割が明記されていますが、職員にその役割と責任をよりわかりやすく表明することが望まれます。	業務実績を積み上げ、理解に結びつくよう努めます。
② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	遵守すべき法令等の理解には配慮していますが、自施設の規程等に反映させて行くような取り組みを望みます。	情報収集能力不足は否めない状況にあるので、自己改革を図ります。
(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。			
① 質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	b	質の向上に向けて組織として指導力を発揮していますが、職員の知識や経験を十分に活かしながら更なる指導力の発揮を望みます。	職員の個性や能力を十分に引き出せるよう、自己研鑽に努めます。
② 経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	b	各種会議を通じて経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに努めていますが、着実に実行していくことを期待します。	中期振興計画に沿った形での取り組みはできていると思いますが、さらに上を目指す努力をします。
II 組織の運営管理			
1 経営状況の把握			
(1) 経営環境の変化等に対応している。			
① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	b	入所者の確保については、女性相談所の一時保護者の動向把握に努めたり、措置権者に要望したりしていますが、施設利用者の安定的確保が望まれます。	利用者の減少傾向は全国的なものであり、全婦連として国に対し女性支援法という形の新法制定を要望しています。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	a	毎年度決算のとりまとめ時に経営状況を徹底分析し、課題の把握と改善に向けた取り組みを行っています。	
③ 外部監査が実施されている。 ※社会福祉法人のみ対象（他は評価外）	c	外部監査は実施されていません。今後を期待しております。	県の指定管理施設で予算の制約があるため、現時点で実施の可能性は低いです。
2 人材の確保・養成			
(1) 人事管理の体制が整備されている。			
① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	b	具体的なプランは確立していますが、人件費等に予算面の制約(指定管理者業務)があり、メンタルケア等の必要な人材を確保しがたい。今後の課題になります。	事業内容が拡大し複雑化していく中で、国に対し専門職員の増員について要望中です。
② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a	効果基準の設定を行い、その内容を職員に示しながら客観的な基準に基づき定期的に人事考課を行っています。	
(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。			
① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	b	毎年1月上旬に職員面談を実施、意向把握に取り組んでいますが、改善点があった場合、具体的手立ての検討に取り組む事を期待します。	職員に具体的な目標管理を行わせることを計画しております。
② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	b	福利厚生は親睦会で職員交流、健康診断は、実施されていますが、積極的な取り組みを期待します。	職員の希望に沿った形での福利厚生に取り組めます。
(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。			
① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	b	法人中期振興計画の中で研修に関する基本姿勢(寄り添い等)が明示されていますが、知識技量の実効性の高い研修の実施が求められます。	高い効果が見込める研修の情報収集に努め、職員に参加を促します。
② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	b	基本姿勢に沿った個別職員研修計画が策定されていませんが、予算範囲以内での研修が実施されています。	個別職員の研修計画策定を図ります。
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	b	研修の成果は、復命書による会議等での報告で発表されていますが、次の研修計画への反映の仕方を望みます。	研修の成果が他の職員にも反映されるための、職場内研修等の時間の確保が不足していたので改善します。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
(4) 実習生の受入れが適切に行われている。			
① 実習生の受入れと育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取り組みをしている。	c	実習生の受け入れの基本姿勢もなく受け入れていません。	当施設は秘匿性の高い一時保護所と同じ建物内にあるため、現状では受け入れ困難です。
3 安全管理			
(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。			
① 緊急時（事故、感染症の発生時など）における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a	緊急時・危機対応マニュアルが整備され職員等が具体的事例で戸惑うことがないように配慮されています。	
② 災害時に対する利用者の安全確保のための取り組みを行っている。	a	指導員が利用者に具体的事例に直面した時に戸惑うことがないように個別指導等積極的に取り組んでいます。	
② 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	b	利用者の安全を脅かす事例収集に努めていますが、要因分析と対応策等の検討が求められます。	事例収集にさらに努め、要因分析と対応策の検討実績を積み上げます。
4 地域との交流と連携			
(1) 地域との関係が適切に確保されている。			
① 利用者と地域との関わりを大切にしている。	c	DV関連の利用者は居場所を把握される恐れがあるため地域との交流を広げることは困難とされています。	一時保護所と一体の現状では困難です。
② 施設が有する機能を地域に還元している。	c	一時保護施設と婦人保護施設が一体であるため施設が有する機能を地域に開放・提供取り組みを行う事が困難とされています。	一時保護所と一体の現状では困難です。
③ ボランティア受入れに対する基本姿勢を明確にし、体制を確立している。	c	ボランティアの受け入れは困難であり受け入れの基本姿勢も明示されていません。	一時保護所と一体の現状では困難です。
(2) 関係機関との連携が確保されている。			
① 必要な社会資源を明確にしている。	a	関係機関との連絡方法を示す組織図、電話番号等が整備されており、それらの情報を職員間で共有しています。	

項 目		評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
②	関係機関等との連携が適切に行われている。	a	女性相談所のネットワークを活用した関係機関との具体的な課題検討の実施や、運営協議会の開催による連携の機会を確保し、具体的検討を行っています。	
(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。				
①	地域の福祉ニーズを把握している。	c	法人の取り組みは拡張されていますが、婦人保護施設としての地域の福祉ニーズの把握は今後の課題になります。	当施設の場合、ニーズは県単位のものと考えており、女性相談所との毎月の検討会や県DV対策連絡協議会への参加、及び苦情解決委員会における民生委員との連携等の中で具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
②	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	c	婦人保護施設としての地域の福祉ニーズに基づく活動も今後の課題になります。	退所者へのアフターケアは、措置費対象にはならないが、ニーズにより自主事業として計画に盛り込み、実施している。また、新たに母子福祉団体等のニーズを受け、同伴児童への支援の充実を事業化することとしている。
Ⅲ 適切な福祉サービスの実施				
1 利用者本位の福祉サービス				
(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。				
①	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解を持つための取組を行っている。	a	利用者の尊重、基本的人権、様々な権利侵害・虐待を受けてきた利用者について学習や研修で理解に努めています。	
②	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a	個人情報の保護に関する要項を整備し、陽光園の基本方針に基づき利用者を尊重し、プライバシー保護に努めています。	
(2) 利用者満足の向上に努めている。				
①	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	b	個人面談、アンケート等、実施していますが、サービスという観点から把握した結果に、さらなる取組みが望まれます。	利用者に対する個別の聴取や利用者懇談会における聴取等により、満足度を把握し常にサービス向上に取り組んでいるが、スピード不足があり改善したい。
(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。				
①	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a	日常的に相談内容によって相談相手を選択できるよう配慮されております。	
②	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	b	苦情解決の体制を整備し、利用者にも説明・掲示されていますが、利用者と委員との意見交換会の取組みが望まれます	苦情解決委員との意見交換会については、利用者がほとんど有職者であり、不安定な職場で定期的な休日確保が難しく取組みは困難な状況でもあることから、利用者に対し、より一層苦情解決の仕組みの理解に努めます。

項 目		評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
③	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a	規定を廊下に掲示し、利用者にも説明しています。要望等に関しては、毎朝のミーティング等で討議され、迅速に対応しております。	
2 サービスの質の確保				
(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。				
①	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a	自己評価は定期的実施されており、組織的に機能しております。	
②	評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実施している。	a	組織として、取り組むべき課題について共有化され、今後の改善策について措置権者とも検討課題としております。	
(2) 個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。				
①	個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。	b	個々のサービスについて実施方法を文書化しておりますが、サービス責任者を指定し寄り添う具体的な内容・手順について共有化が、望まれます。	指導員2名のうち1名をサービス責任者に任命します。
②	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	見なおしについても、責任者を中心としたチームの情報共有化が望まれます。	定期的に現状を検証し、必要な見直しを行います。
(3) サービス実施の記録が適切に行われている。				
①	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	b	統一した様式で実施されておりますが、責任者を中心に情報共有した取り組みが望まれます。	記録する職員により、記録にばらつきが生じないように努めます。
②	利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a	個人情報の保護に関する要項に基づき、適切に管理されております。	
③	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	b	利用者の状況に関しては、朝の会、引き継ぎにて共有できる取り組んでおりますが、具体的配慮など記録に共有される取り組みが望まれます。	毎月の定例会の開催による利用者からの要望の聴取、利用者自身の目標設定に沿った支援の在り方等を、さらにわかりやすい形式と表現により、情報共有するよう取り組みます。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
3 サービスの開始・継続			
(1) サービス提供の開始が適切に行われている。			
① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a	利用開始については、希望に添って支援計画が作成され、サービスや情報提供の支援がなされております。	
② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a	保護施設として、利用者の意向を確認し、同意のもとに支援に取り組んでおります。	
(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。			
① 施設の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	b	保護施設として、関係機関との連携構築を図り継続できるよう配慮が望まれます。	自主事業のアフターケアとして実施しているが、限界もあり国に対し措置費対象となる10人以上の枠の撤廃を要望中です。
4 サービス実施計画の策定			
(1) 利用者のアセスメントが行われている。			
① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	b	サービス責任者を選任し、定期的な見なおしや、利用者の状況に応じて見なおしを図る手順に取り組む必要があります。	サービス責任者の選任を行ったうえで、アセスメントの見直しを行います。
(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。			
① サービス実施計画を適切に策定している。	b	サービス責任者を選任し、利用者の意向に沿い、利用者の主体性や利用者尊重のため、職員が情報共有した支援体制が望まれます。	サービス責任者を選任のうえ、アセスメント結果に沿って課題解決のための目標とその達成に向けた具体的な対応策を策定し、職員間で情報共有するよう取り組みます。
② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	b	支援業務内容に基づき、見なおしを実施していますが、利用者への寄り添いや孤独にさせない組織の情報共有化が望まれます。	計画に基づき、個々の利用者の身体状況や生活形態、経済状況に応じた利用者主体のサービスの在り方を考慮し、サービス責任者の情報管理のもと、情報共有を図りながら計画の評価・見直しを行います。

◆ 細目の評価結果（内容評価24項目）

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
A-1 利用者の尊重			
A-1-1 (1) 利用者の尊重			
①	a	定例会や個人面談、生活場面等で機会が確保されている。連絡ノート等活用し、自由に記入してもらう等工夫がなされている。	
②	b	利用者数が少なく施設内での主体的に活動出来る状況にないのは理解できます。いつでも支援出来る体制が望まれます。	利用者が主体的に活動に取り組み、自立目標実現に向けて前進するための体制づくりに努めます。
③	b	施設パンフによって情報提供していますが、利用者が理解・納得が深まるよう期間をおいて、再度、説明する等が求められます。	利用者が安心して施設を利用できるように、理解しやすい表現、言葉による説明の機会を増やします。
④	b	就業規定、管理規定に明記されていますが、会議や施設内研修等で具体的な例を示しながら学習する機会を設けることを望みます。	職員会議等で徹底してはいるが、利用者の心身の状況の理解に努め、利用者主体の支援を心がけます。
⑤	b	外部研修の他、施設内研修においても具体例を示して利用者に周知して頂く等、職員間でも研修や具体的な体制の整備、対策が望まれます。	女性の人権を守るための活動を行っている法人として、常に周知を図っているが、さらに職場内研修の機会を増やします。
⑥	a	他の利用者の妨げにならない範囲で認められ保障されています。	
A-2 日常生活支援サービス			
A-2-1 (1) 食生活			
①	a	食事場所は明るく衛生的で、保冷、保温にも対応、電子レンジも備えられています。献立表（カロリー表示）とのバランスを明確にしています。	
②	a	利用者の勤務に合わせた対応が図られています。	
③	b	調理実習、外食の機会を利用した支援は図られていますが、マナー、洗い方、片付け、処理について「きまり」や「手順」を作成するなど、工夫が望まれます。	利用者の生活形態に沿いながら、食習慣を習得させるための支援や工夫を心がけます。

項 目	評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
A-2- (2) 住生活			
① 居住等施設全体が、生活の場としての快適さに配慮したものになっている。	a	他機関と共有の建物で生活空間は異なるものの、制約はあります。しかし居室は個室で明るく衛生的です。ティーセットも用意されホットな感じが伺えます。	
A-2- (3) 入浴			
① 入浴の支援は、利用者の状況や希望を反映して行われる。	a	毎日、入浴が可能で利用者からも好感を得ています。利用時間にも配慮され、ユニットバスでプライバシーも守られています。	
A-2- (4) 他者との関係調整			
① 利用者と家族との関係再構築のための支援を行っている。	a	施設内にて相談室を利用し、対応しています。悩みや思いを連絡ノート（交換日誌）にも記入して頂き、寄り添いの支援がなされています。	
② 利用者と、他者との関係調整のための支援を行っている。	b	現在、利用者が一人で関係調整のための支援は行われていませんが、必要時の支援体制は整えられています。	これまでも他の利用者との関係づくりは、自立のための重要な要素として支援してきております。また、常に必要な場合は弁護士等の専門家や関係機関との連携も図っています。
A-2- (5) 自主性・自律性を尊重した日常生活			
① 行事などのプログラムは、利用者が主体的に関わることが出来るように計画・実施されている。	b	利用者が一人であり、現時点での計画実施は難しい状況にあります。	常に利用者の意見や希望を取り入れながら、行事などを計画・実施するよう心がけております。
② 利用者が自らの健康について理解を深めるような支援を行っている。	a	衛生管理マニュアルが作成されており、年2回健康診断、予防接種等実施、利用者が自分の健康について相談しやすいよう、配慮がなされています。	
③ 個別に応じ、利用者への衣食住に関する生活スキル向上の支援を行っている。	a	日常生活の場面等で必要な声かけや調理実習等、共に行うことでスキルアップに繋がる支援体制が整えられています。	
④ 利用者が新しく生活立て直すために、十分な相談体制をとっている。	a	相談室が設けられ、プライバシー等に配慮している。夜間、休日の相談にも対応し、利用者意向のくみ取り支援がなされています。	
⑤ 婦人保護施設の利用者の特性により生じる心理的な課題を持つ利用者に対して心理的な支援を行っている。	a	女性相談所の心理職員が定期的に面接を実施しており、合同会議で情報共有しています。嘱託医は精神科の医師が配置されています。	

項 目		評価結果	優れている点・改善を求められる点	評価結果に対する事業者からの意見
⑥	利用者の職業能力開発や就労支援を行っている。	b	社会的自立のため利用者の心身状態、意向に配慮した支援とハローワーク等有効な活用が望まれます。	ハローワーク等を活用しながら就労支援を行っていますが、心身状態や意向とのミスマッチ、自立のための収入不足等課題も多く、より利用者の意向に沿った支援を推進します。
⑦	利用者が必要に応じて社会資源を有効に利用できるような支援を行っている。	a	社会資源の活用のための情報や必要な資料等サポート体制が整えられております。	
⑧	利用者が性について理解を深めるための取り組みを行っている。	c	利用対象者は女性であり、「性について」は、職員での学習会等の実施が望まれます。	自立した生活の構築において、人間としての「生と性」の在り方は基本となるものであり、職員及び利用者に対し、専門家による学習機会を設けることを検討します。
⑨	金銭の管理や使い方など経済観念が身につくよう支援している。	b	出納帳で金銭管理、使い方等、経済観念の醸成に向けて取り組んでいますが、その必要性について理解して頂き、個々にあった工夫が望まれます。	利用者の意思を尊重して、用途や管理方法を共に考え、理解を促しながら支援の充実を図ります。
⑩	利用者に対する債務処理のための支援を行っている。	b	相談体制は整えられております。債務処理には積極的に法テラスを活用していますが、職員と共に個別の返済計画を立てさせる等の支援が望まれます。	個別の経済状況を理解しながら、利用者の意向を尊重したわかりやすく、自己管理に結びつくような支援に努めます。
A-2-(6) 利用者の安全の確保				
①	夫等の暴力により保護者を必要とする利用者の安全確保を適切に行っている。	a	安全確保のため、婦人相談所や関係機関と連携を図りながら、全職員が共通の認識で支援が進められ、必要に応じて送迎や付き添い等、支援が実施されています。	